

琉球大学学術リポジトリ

概要、凡例

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学資料館 (風樹館) 公開日: 2012-11-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/25304

概要

本目録では、琉球大学資料館（風樹館）の収蔵資料の内、2012年3月までに登録を完了した、考古資料2113点、民俗資料444点、美術工芸資料962点を収録した。各資料群の概要を以下に示す。

1. 考古資料

収蔵されている考古資料の多くは、本学がまだ首里城跡の上にあった頃に、元琉球大学美術工芸科の山元恵一教授らによって、大学内の工事現場などから表土採集された瓦や石造品などの首里城関連の考古遺物である。これらは、文化財保護の意識がまだ十分でなかった戦後の混乱期に、山元教授の収集活動によって散逸を免れた貴重な資料群である。収蔵資料の中には、首里城正殿前に設置されていた大龍柱（阿形）の頭部破片や漏刻門日影台方位版（日時計）破片などのように、首里城復元の際に参考とされた重要な資料も含まれている。

2. 民俗資料

民俗資料は、当館の前身である琉球大学農学付属農業資料館の設立時に（1967年）、県内各地から寄贈を受けた古農具類がその大半を占める。これらの中には、当方で150年以上前のウシの鞍（沖縄島産）、県内に三隻しか残されていないアカギをくり抜いた丸木舟（西表島産）、沖縄独自の民具の一つである藁算の復元資料、戦前の琉球玩具などの貴重な資料が含まれている。

3. 美術工芸資料

沖縄県の伝統工芸品を中心に、壺屋焼、漆芸、染織、紙漉、金細工、琉球ガラスに関連した資料が収蔵されている。壺屋焼に関する資料では、戦後の壺屋の復興を牽引した金城次郎、小橋川永昌、新垣栄三郎のほか、民芸運動の中心的な指導者で沖縄の工芸界にも大きな影響を与えた濱田庄司とバーナード・リーチが壺屋で作陶した作品も含まれている。また、沖縄の伝統的な装飾品の一つである、女性用簪（ジーフアー）や房指輪なども収蔵されている。

凡例

考古

登録番号	資料名	方言名	生産地	収集場所	受入方法
------	-----	-----	-----	------	------

民俗・考古

登録番号	資料名	方言名	生産地	製作者	受入方法
------	-----	-----	-----	-----	------

美術工芸

登録番号	資料名	分類	製作場所	製作者	受入方法
------	-----	----	------	-----	------